



THUMP 210XT

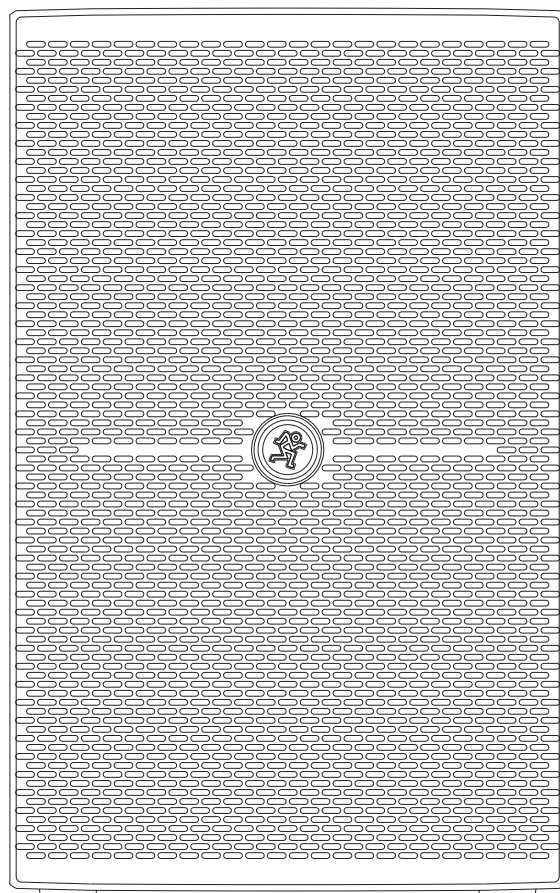
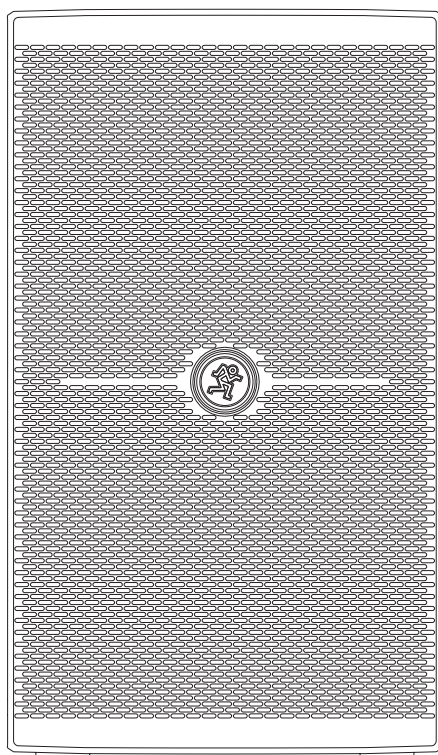
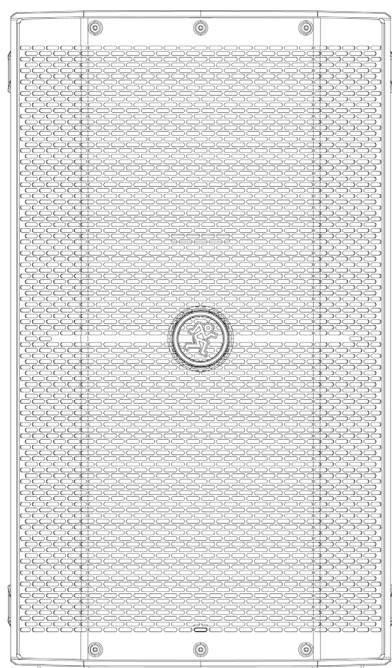
THUMP 212XT

THUMP 215XT

1400W POWERED LOUDSPEAKERS

クイックスタートガイド

Ver. 1.0



重要な安全上の注意事項

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	「必ず守ってください」という強制を表しています。		「絶対にしないでください」という禁止を表しています。
---	--------------------------	---	----------------------------



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。



禁止

水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



必ず実行

電源コードや接続ケーブルは安全に配置すること

電源コードをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源コードが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



禁止

本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



必ず実行

異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、電源コードやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



必ず実行

専用電源コードは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



必ず実行

確実に接地すること（アース）

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



必ず実行

移動するときはケーブルを全て抜くこと

電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



禁止

本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



禁止

改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



禁止

電源コードを濡れた手でさわらないこと

感電の原因となる場合があります。



必ず実行

長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源プラグを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



必ず実行

電源コードは必ずこの製品に付属のものをを使うこと

適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。

**警告**

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

スピーカースタンドは安全な場所で、規格に適合するものを使用すること
この製品をスピーカースタンドに取り付けて使用する場合は、安定した場所に設置してください。使用するスピーカースタンドの耐荷重、取り付け方法等の仕様を守ってお使いください。使用方法を誤るとスピーカーが転倒し、近くにいる方が死亡または負傷する原因となる場合があります。



必ず実行

電源ソケットに手が届くよう設置すること
この製品の背面には電源を遮断する電源スイッチが付いています。この電源ソケットに簡単に手が届くよう設置してください。



必ず実行

本体を高い場所や頭上に設置する場合は専門の技術者に工事を依頼すること
足場が不安定な高所作業、人の頭上への設置は、死亡や負傷、製品の損傷などの危険が伴います。専門の設備工事業者にご依頼ください。



禁止

本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと
ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。



禁止

スピーカーを吊り下げるときにハンドルを利用しないこと
製品が落下して、近くにいる方が死亡または負傷する原因になる場合があります。スピーカーを設置する場合は必ず本体内蔵のリギングポイントをお使いください。



必ず実行

他の機器と接続するときはこの製品の電源を切っておくこと
接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。

**注意**

この記号は取り扱いを誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること
本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



禁止

ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと
本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。



必ず実行

スピーカーは定格範囲内で使用すること
定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると、スピーカーが故障する場合があります。特に歪にはご注意ください。



禁止

高温になる場所に設置しないこと
直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上にもうそくなど裸火を置かないでください。



禁止

裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと
この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないでください。本体が故障する原因になります。



禁止

テレビ、ラジオ、携帯電話の近くで使用しないこと
この製品またはテレビやラジオなどに雑音が入る場合があります。

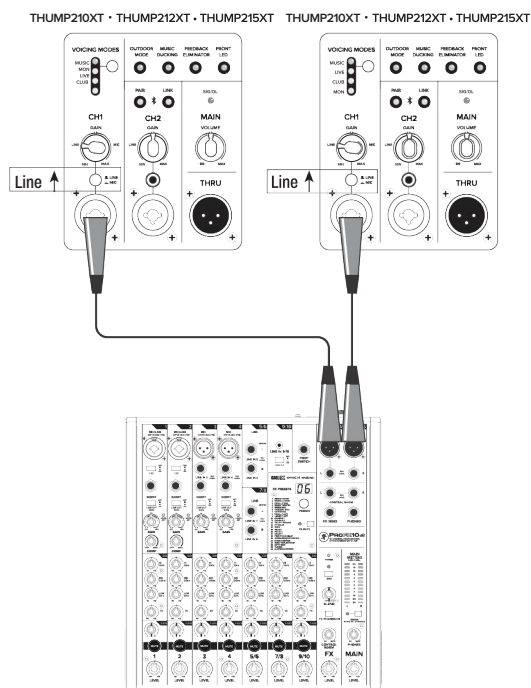


禁止

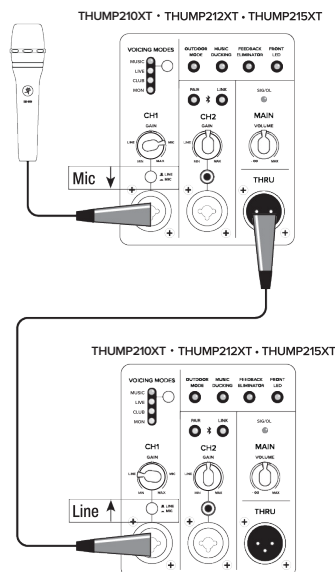
この製品に付属している電源コードをほかの電気用品に使用しないこと
この製品に付属している電源コードはこの製品専用のものです。ほかの電気用品には絶対に使用しないでください。

接続図

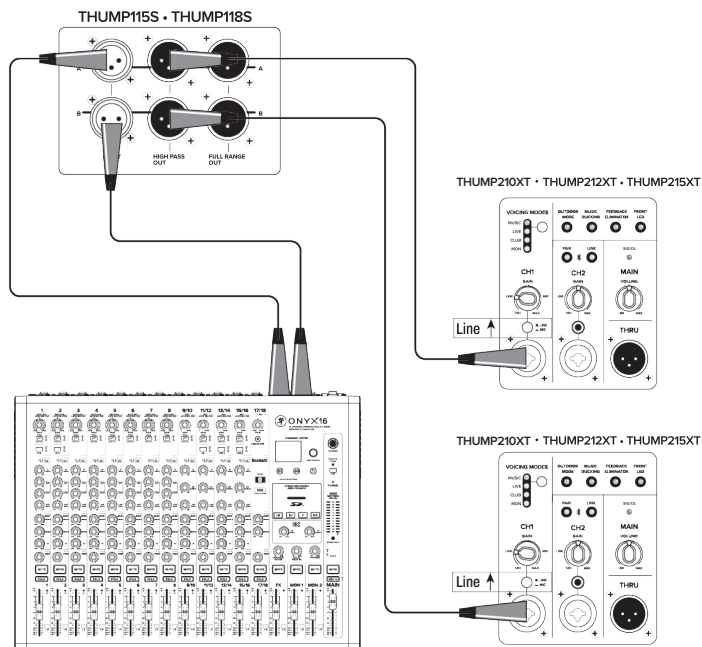
ステレオ使用時



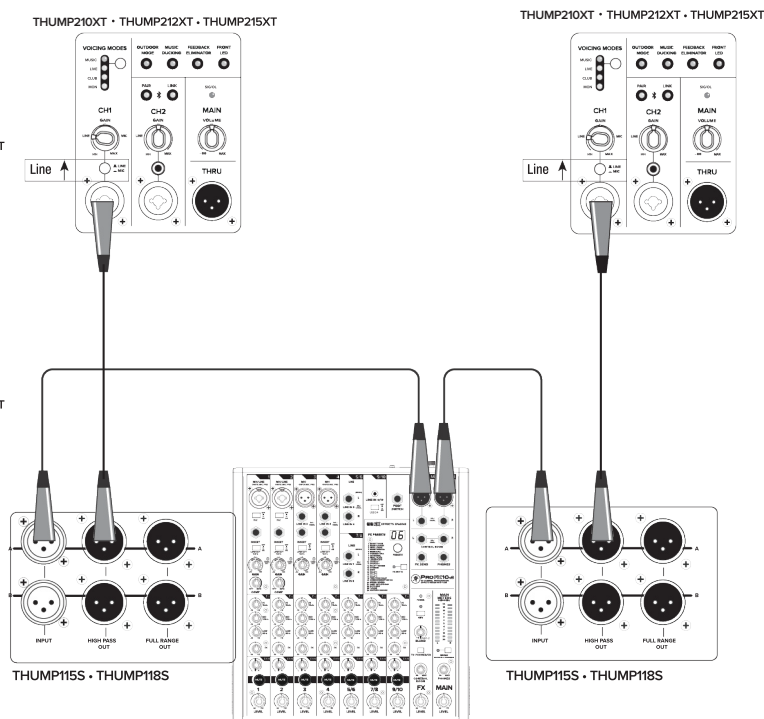
1本のマイクを使用し複数台の THUMP シリーズを増設する場合

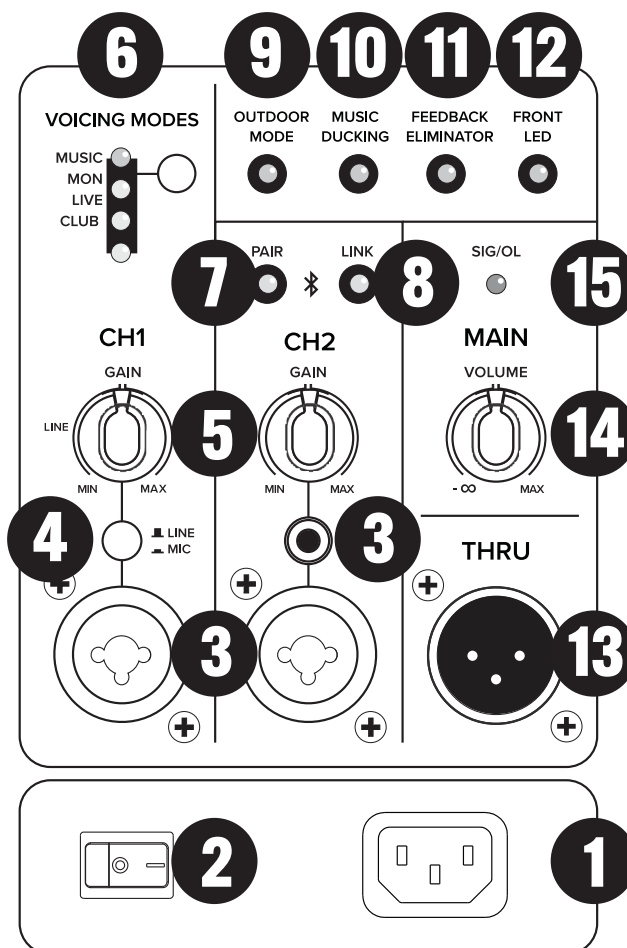


サブウーファーを 1 本増設した PA システム



サブウーファーを 2 本増設した PA システム





リアパネルの説明

- 電源端子** 付属の AC 電源コードをこの IEC ジャックに接続します。付属の AC 電源コード以外は使用しないでください。
- 電源スイッチ** Thump210/212/215XT の電源の ON/OFF を切り替えます。電源が ON になった場合は本体のフロントにある LED が点灯します。
- 入力端子** マイクやミキサー等の音源を接続します。マイクを直接接続する場合は、必ず両端 XLR3 ピンケーブルで接続してください。マイク入力には CH1 のみ対応しています。
- LINE / MIC セレクタースイッチ** マイクを接続した場合はこのスイッチを押し込んでください。ミュージックプレーヤーやミキサー等を接続した場合はこのスイッチは突き出た状態に設定してください。※注意：このスイッチは 20dB のレベルを瞬時にオンオフできるスイッチです。設定を変更する際は必ず GAIN ノブを下げ切った状態でおこなってください。
- GAIN ノブ** マイクを接続した場合はこのノブを 12 時以上に上げてください。ミュージックプレーヤーやミキサー等を接続した場合は 11 時程度の位置で問題ありません。ただしいずれも歪みやノイズがないレベルで設定してください。
- VOICING MODES** 使用用途によって選択してください。音楽再生時は MUSIC、イベント使用時は LIVE、クラブイベント時は CLUB、モニター使用時は MON が最適です。
- Bluetooth ペアリングボタン** このボタンを長押しすることで Bluetooth ペアリングを開始します。Bluetooth 対応デバイスの設定 > Bluetooth から本機を選択しペアリングを行ってください。ペアリング方法は各 Bluetooth 対応機器のマニュアルをご参照ください。静電気放電 [ESD] の影響を受けると Bluetooth 接続が途切れる場合があります。その際は再度 Bluetooth ペアリングを行ってください。※注意：ペアリング完了前にアプリ「THUMP CONNECT2」は起動しないでください。ペアリング完了後に「THUMP CONNECT2」アプリを起動してください。
- LINK** 1 台目の THUMP XT とペアリングが完了後、このボタンを長押しするとこのボタンが青く素早く点滅を開始します。その間、30 秒以内に 2 台目の THUMP XT の同じボタンを押してください。リンクが開始します。1 台目のスピーカーがペアリングできていない場合は 2 台目とリンクすることができません。スピーカー同士は手の届く距離でリンク作業を行ってください。リンクが完了するとこのボタンは点滅から点灯にかわります。リンクがうまくいかない場合は、2 本とも電源を一度シャットダウンし、再度 1 本目のペアリング作業から開始してください。
- OUTDOOR MODE** 屋外で使用する場合、このスイッチを押してください。
- ミュージックダッキングスイッチ (MUSIC DUCKING)** ch1 に接続した音源が優先され再生されます。このボタンを押すと ch2 の音源は ch1 に音声が入力されると自動でレベルが下がります。
- フィードバックエリミネータースイッチ (FEEDBACK ELIMINATOR)** このスイッチを押すことで自動的に「キーン」という不快なハウリングを感じし削除してくれます。ただし効果がありすぎる場合は保護回路が働き電源がオフになることもあります。その際はこのスイッチをオフに設定してください。
- フロント LED スイッチ** 電源がオンの際にこのスイッチを押すとフロントの LED が点灯します。
- THRU** 追加のサブウーファーや他のフルレンジスピーカー接続するための出力端子です。
- ボリュームノブ (VOLUME)** 出力レベルを調整するノブです。
- オーバーロード LED (SIG/OL)** この LED が常時点灯している場合は過大入力と考えられます。接続機器側で出力レベルを下げてください。この作業を行わず過大入力が続続した場合に発生する不具合は保証修理対象外となります。

クイックスタート

1. P.2-3 の重要な安全上の注意事項を読み、理解してください。
2. 接続機器すべての機器の電源がオフになっているのを確認したのち、ケーブルの接続を開始します。マスターボリューム、レベル、ゲインコントロールがすべてオフになっていることを確認してください。
3. サブウーファーを使用しない場合、ミキサー（または他の音源）からの出力をスピーカーのリアパネルのインプットに接続します。
4. サブウーファーを使用する場合、ミキサー（またはその他の音源）の出力をサブウーファーのリアパネルのインプットに接続し、サブウーファーのハイパス出力をスピーカーのインプットに接続してください。
5. 電源ケーブルをサブウーファー / スピーカーの IEC 電源端子にしっかりと押し込み、もう一方の端を電源 コンセントに差し込みます。アースは必ず取ってください。
6. ミキサー（またはその他の音源）の電源をオンにします。
7. サブウーファーの電源をオンにします。
8. スピーカーの電源をオンにします。
9. スピーカーに接続した音源やミキサーのレベルが適切に設定されているかを確認してください。
10. 音源を再生しミキサーのフェーダーを適切な位置まで上げます。

	THUMP210XT	THUMP212XT	THUMP215XT
周波数特性 (-10 dB)	52 Hz - 23 kHz	47 Hz - 23 kHz	40 Hz - 23 kHz
指向性	90° 水平 x 60° 垂直		
最大 SPL ピーク	127 dB	128 dB	129 dB
トータルパワー	1400 W Peak		
LF Driver ・ アンプ仕様	10 in / 254 mm ドライバーユニット 1200 W Peak Class D パワーアンプ	12 in / 305 mm ドライバーユニット 1200 W Peak Class D パワーアンプ	15 in / 381 mm ドライバーユニット 1200 W Peak Class D パワーアンプ
HF Driver ・ アンプ仕様	1.0" / 25 mm ポリマーコンプレッションドライバー 200 W Peak Class D パワーアンプ		
クロスオーバー周波数	2.1 kHz		
入力	XLR/6.3φTRS コンボ x2 + ステレオミニ、Bluetooth		
出力	XLR バランス出力 (スルー)		
Bluetooth	5.0 オーディオストリーミング & アプリコントロール		
電源要求	100-240V~, 50-60 Hz, 75W		
保護回路	ピークおよび RMS リミッティング、電源およびパワーアンプ過熱保護回路		
寸法 (H x W x D)	569 x 330 x 325 mm	620 x 356 x 356 mm	696 x 439 x 356 mm
重量	11.6 kg	12.5 kg	14.8 kg

予告なく仕様変更する場合がございます